

「誇りに思えるまち」を目指して取り組む3つの柱 ～つたえる・ささえる・みつける～

市役所の デザイン力 UP

市民の 自己実現の お手伝い

市民と共に まちの魅力を 再発見



■市の「伝わる力」向上を

市が発行するチラシやポスターなどのデザイン力を上げ、見る人の心に残り、行動に移してもらえるよう「伝わる力」を向上していきます。

■にぎわい創出に関わる人を応援

魅力あるまちを創出するために、新たな取り組みを行う人を支えていきます。主体性を持って活動する人の「やりたい」という思いを応援します。

■市民がまちの魅力を見つけ・伝える

高校生や主婦などで構成される「こがキラphotoクラブ」のメンバーが、古河の魅力的な日常風景や場所を発見しSNS等で発信していきます。



齊藤主事
(シティプロモーション課)

多くの部署から相談を受けるようになり、職員の仕事に対する意識が変わってきたと感じます。これからも、「伝わる力」を磨いていきます。



金子典子さん
(お休み処 坂長 館長)

館長になって、何かやりたいけどやり方が分からない人がたくさんいることに気付きました。これからも、みんなの「踏み出す一歩」を支えていきます。

活動の中で古河の魅力をたくさん見つけ、それを古河で暮らす皆さんと共有できることがとってもすてきで楽しいです！



ぐんちゃん
(こがキラphotoクラブ)



まちのファンを増やし、 誰もが誇れる古河をつくるために

市では、人口減少が進む中であっても、自身のまちを誇りに思い、郷土愛を持って活動する「まちのファン」を増やし、その人に支えられたまちの活力をこれからも維持していくことを目指しています。私たちの古河がこれからも活力に満ち溢れたまちになるよう、一緒に考えてみませんか。

まちが元気になるために

市では、外から人を呼び込むことを目的としたPRにとどまらず、市民が郷土愛を感じられるよう、市民向けのプロモーションにも力を入れています。日本全体で人口が減っていく中、まちの元気を維持していくためには、市民だけでなく、市外に住んでいても古河に愛着を感じている人たちの「古河を勧めたい」「古河を良くする取り組みをしたい」「取り組みや人を応援したい」という思いを育てて「まちのファン」を増やしていくことが大切です。

「まちのファン」に支えられるまちへ

市民の皆さんが、郷土愛を持って生き生きと活躍するには、行政サービスの充実のほか、まちでの「楽しかった」「面白かった」というかけがえのない思い出を積み重ねていくことが大切です。

市への郷土愛や誇りを持った市民同士の集う場が生まれ、つながることで、「まちのファン」の輪が広がります。そのような人たちに支えられるまちになることで、「古河に住み続けることが私の誇り」という思いにつながります。

市では今後も、生き生きと輝く市民の活動やきらりと光るまちの魅力を発信し、支えていくことで、市民の郷土愛を育んでいきます。



シティプロモーションの現状とこれから

このような思いから、市では、市民の皆さんと共にまちの魅力を見つけて、それらを磨き、光を当てる活動の第一歩として、今年度から「こがキラphotoクラブ」と共に魅力発信を行ってききました。

今後は、「まちのために何かしたい」など、市民の皆さんの思いを支えるため、協議会の設置も予定しています。

また、今後のプロモーション方針を検討していく上で、市への愛着度などに関するアンケートを実施します。魅力あるまちにしていくためにもご回答をお願いいたします。

アンケート調査にご協力を！

古河に対する興味、古河で何かしたいという意欲などを測り、今後の活動の参考にしていきます。

期間 2月29日(土)まで

対象 市内在住・在学・在勤の人

申込・問 市ホームページ、QRコードから回答

☎シティプロモーション課

